

YAMANASHI

すけん



新年挨拶

第14回 職員交流ソフトバレーボール大会について

第11回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

部会活動報告

施設訪問記 しおかわ福寿の里



新年挨拶

山梨県老人保健施設協議会

会 長 保 坂 久

(いちのみやケアセンター理事長)

明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃は老人介護の為、日夜懸命なご努力をいただき、また山老健の業務にも何かとお力添えを戴き心から感謝申し上げているところであります。昨年的一年を振り返ってみますと、何と言っても介護職員の生活を守る署名運動の展開でした。全国から166万名の署名をいただき、山老健の皆様だけでも3万名に近い理解ある尊い署名をいただいたことは多くの人々の老人介護への深いご理解の賜物と改めて感じいった次第です。この運動が先般新聞紙上に報道されたことはご承知のことと思いますが、本年4月から介護報酬の値上げに踏み切る政府与党案が示されたと報道されました。私たち介護老人保健施設に限らず今や介護サービスを提供する事業所の多くはその運営に、そして介護を担う介護労働者の質と数の確保に苦悩しているのが現状といっても過言ではありません。政府の対応はあまりにも遅いといしか言いようがありません。更に今、政府は医療費削減の為、いわゆる療養病床を35万床から15万床に減らしこれを介護老人保健施設に転化させようとしています。しかも医療ニーズの高い老人を介護老人保健施設に転化させるべく「介護療養型老人保健施設」として基準報酬を多少変更して敢えて移行させようとしています。この施設が担うべきこととして加算が認められたターミナルケアなどは既存の介護老人保健施設でも既に実践されているところもあります。このようなダブルスタンダードについてもその矛盾を今後一層明らかにしてゆく必要があるのではないかと考えます。いずれにしても今後介護療養型老人保健施設の問題は多くの議論の残る問題だと考えざるを得ません。さて昨年は皆様の多大なご協力を得て滞りなく諸行事を執行することが出来ました。秋の職員交流ソフトバレーボール大会には大多数の施設の参加を頂き盛大に開催できましたこと厚く御礼申し上げます。年々選手の質も向上しすばらしい戦いの中に結局サンビューかじかざわが優勝されました。また介護老人保健施設大会には感染症をテーマに峡南ケアホームいいとみ施設長 長田忠孝先生に特別講演をお願いし、講演後、感染症をめぐる諸問題として6施設の方々にシンポジウムをお願いしたところ大変な好評を博し、また演題発表には26施設から29演題が出されいずれもすばらしい発表がなされました。優秀賞として4演題を選び、盛会裏に大会が終了できましたこと、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

最後に会員の皆様のご多幸と今後益々のご発展を心から祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

第14回 職員交流ソフトバレーボール大会について

山梨県老人保健施設協議会理事
福利委員長 小田切 紀子



平成20年9月21日（日）、甲府市総合市民会館・山の都アリーナにおいて「第14回山梨県老人保健施設協議会 職員交流ソフトバレーボール大会」が開催されました。

今年は会員30施設中22施設の参加があり、力強い試合と応援合戦が展開されました。年に1度、恒例行事として行われている本大会へ向け、日々の忙しい業務にも関わらず、時間を割き練習を重ねてきた成果が十分発揮されており、息の合ったチームワークには目を見張るものがありました。また、応援席からの様々な活気あふれる声援には、各施設工夫を凝らしたものがあり、応援旗や太鼓等の楽器を使用し熱気あふれる試合をさらに盛り上げておりました。

年々開催数を重ねていく中で、各施設ともに大接戦を繰り広げ、素晴らしい試合内容となりました。試合はいずれも目を離せない程の緊迫した接戦となりその結果、「サンビューかじかざわ」が栄冠を獲得し、「いちのみやケアセンター」が準優勝となりました。

お互いに声を掛け合い励まし合う中、施設内での交流に加え、他施設職員との交流も、図られたのではないかと思います。

本大会運営に際し、県老健保坂会長以下関係者各位の皆様のご協力の賜物でございます。ありがとうございました。ご出場いただきました各施設の選手・応援の皆様のご協力により順調に進行できましたことを心より感謝し、お礼申し上げます。



成績結果

- | | |
|-----|---------------------|
| 優勝 | サンビューかじかざわ |
| 準優勝 | いちのみやケアセンター |
| 第3位 | 峡南ケアホームいいとみ
はまなす |
| 敢闘賞 | ナーシングプラザ三珠 |

第11回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

山梨県老人保健施設協議会理事
研修委員長 臼井 行夫



平成20年度、第11回山梨県介護老人保健施設大会が10月29日アピオ甲府に於て開催されました。保坂久会長の主催者挨拶に始まり、ご来賓の山梨県福祉保健部小沼省二部長様には老健役職員の日頃の努力にねぎらいの言葉をいただいた上で、今後の高齢者福祉行政の指針もお話し下さいました。

講演に移り、峡南ケアホームいいとみの長田忠孝施設長の「介護老人保健施設における感染症について」とのテーマのお話しは、先生ご自身が毎日医療介護の現場で陣頭指揮をおとりになっているだけに分かり易く説得力のあるものでした。

又、その後は同テーマによるシンポジウムに入りさらに掘り下げた討論が行われました。感染症はなくすことはできないが、しっかりした予防と早期対策により最小限に抑える事ができ、そのマニュアル作りが最も重要であるとの結論でした。

午後からは、この一年の介護に対する研究の成果を確認し合う演題発表を行ないました。29の演題全てが介護サービスの進化を印象づけるのに十分でした。あえてタブーに挑戦した発表もあり非常に感銘いたしました。

優秀演題として4題が表彰されました。しかしいずれの発表も介護現場というマニュアルの乏しい中、手探りで根気の伴なうすばらしい努力の結果であり、関係した全ての皆さんに心より拍手を送りたいと思います。

私達役職員は、毎年開かれるこの価値ある大会に交互に参加しつつ精進を重ねることにより老健の飛躍発展につながるものと確信致すしいでございませう。

終りに、本大会に関わりいただいた全ての皆様に心より御礼申し上げご報告と致します。



演題の一覧

セクション1

座長 NAC湯村 支援相談員 内藤 克博

- § 安全管理を再考する
~ 異食行為をする利用者の入所をきっかけに ~
しおかわ福寿の里 看護師 清水 恵
- § 「歩いて家に帰りたい」
~ 「坂道を介助なしで家まで歩きたい」
という希望を叶えるために ~
ナーシングプラザ三珠 介護福祉士 小田切裕一
- § 高齢者の抗精神病薬使用について考える
~ 抗精神病薬とADLの相関関係 ~
ノイエス 看護師 柿島 郁子
- § 年間行事の取り組み
~ 地域の特性を活かして ~
いちのみやケアセンター 介護職員 内田 貴行
- § 「ハッピー パースデイ」
~ 誕生会で利用者様が存在をアピールする ~
峡西老人保健センター 看護師 雨宮つや子
看取り後に お風呂に入れて
~ 旅立ちは石ケンの香りに包まれて ~
はまなす 介護員 渡辺 茂美
- § 『外食会に見る、生きている実感』
~ 『施設の外に広がる利用者の心』 ~
山梨ライフケアホーム 介護主任 清水 勝彦

セクション2

座長 ふじ苑 理学療法士 深沢 千恵美

- § 自立した生活
~ 自分で出来る喜び ~
つる 介護福祉士 柏木 香菜
- § 短期集中リハビリの効果が見られた一症例
~ 100歳でゲートボールやっています!! ~
峡北シルバーケアホーム 看護師 沓川 上
- § 千の風・・・、涙そうそうも歌えたよ
~ 3年間の音楽セラピーを通じて得られたもの ~
ももくら 介護職 勝俣 公德
- § 身体拘束ゼロを目指して
~ 身体拘束解消委員会分科会の設置とその役割 ~
甲府南ライフケアセンター 介護福祉士 篠崎 弘祐
みんなと同じで本当にいいの! ?
~ 利用者中心の排泄個別ケアのシステム作り ~
峡南ケアホームいいとみ 介護福祉士 二宮 愛
- § ハンドマッサージを通して
~ ぬくもりにふれる ~
ケアホーム花菱 介護職員 丸山 美樹
- § 専門性を高めよう
~ 学習できる職場環境づくりへの取り組み ~
NAC湯村 介護支援専門員 堀内 貴弘
- § 誤嚥予防のための訓練
~ 「間接訓練」 ~
あさひホーム 看護師 宮下 祐

セクション3

座長 はまなす 看護師長 門馬 恵子

- § ろうけんのはいしゃさん
~ 老健における歯科衛生士としての活動 ~
サンビューかじかざわ 歯科衛生士 青柳佳代子
- § 終末期みとりの経験
~ みとりを通して見えてきた終末期のかかわり方と
家族へのアプローチ ~
ふじ苑 看護師 保坂由紀子
- § 担当者会議開催から3年経過して
~ 20分の会議でどう話す ~
甲府相川ケアセンター 介護支援専門員 平松 幸記
口腔ケアの重要性について
~ 歯科介入調査の結果から ~
NAC湯村 介護福祉士 芳賀 庸輔
- § 行こう! 食べよう! 笑いましょう!
山中湖あんずの森 介護職員 堀内恵理香
- § 個々のニーズに合わせたレクリエーションの導入
~ 音楽活動の取り組み ~
玉穂ケアセンター 介護職員 平岩 祐一
- § 利用者とふれあいたい!
~ これでもいいの? レクリエーション ~
甲府かわせみ苑 介護職 金丸 慎

セクション4

座長 甲府相川ケアセンター 管理栄養士 堀口 一美

- § 家族の面会状況を詳しく調べました
~ 「会いに来てくれて嬉しいなあ!」 ~
はまなす 介護福祉士 酒井奈利子
- § みんなでリハビリしてみよう!
~ リハビリテーション補完計画 ~
フルリールむかわ 理学療法士 石合 啓一
- § 専門的口腔ケアによる意識レベルの向上
~ 「見て! 目が開いている!」 ~
勝沼ナーシングセンター 看護師 拍手岐予美
- § ノロウイルスとの戦い
~ 感染拡大を最小限におさえるまでの経過 ~
ケアセンターいちかわ 介護福祉士 深沢 智一
- § タンポポの園が、ある日、畑に・・・
白樺荘 介護職員 渡辺 一史
- § 「個別ケアの充実を目指して」
~ プロセスレコードを通して ケアの振り返り ~
甲州ケアホーム 介護福祉士 石川 志穂
“オレも食べたい!”
~ 胃瘻から経口摂取へのアプローチ ~
ノイエス 介護職員 川口 五月

部 会 活 動 報 告

リハビリテーション部会

第1回 リハビリテーション部会の開催

日 時：平成20年6月27日(金) 13:30~14:30

場 所：介護老人保健施設「つる」

活動内容：勉強会「身体拘束廃止推進事業について」

平成19年度活動報告・会計報告

平成20年度活動計画・予算案について

平成20年度役員紹介

次回部会のテーマについて、情報交換、施設見学

第1回部会は、17施設20名の出席がありました。身体拘束についての講義の後、グループに分かれ各施設での取り組みや問題点などを話し合い、活発な意見交換がなされました。

次回の部会では、言語聴覚士を講師に迎え老人保健施設における嚙下、言語療法についての勉強会を行う予定です。老人保健施設におけるリハビリテーションサービスの向上に寄与できるよう、有意義な会としていきたいと思っております。

部会長 後藤 雅貴

通所リハビリ部会

第1回 通所リハビリ部会の開催

日 時：平成20年7月23日(水) 14:00~16:00

場 所：東京エレクトロン 韮崎文化ホールリハーサル室

活動内容：平成20年度役員紹介及び事業計画について

平成20年度山梨県老人保健施設協議会総会報告

勉強会「通所リハビリと音楽療法」

講 師：音楽療法士 青柳伸二先生

その他、意見交換

出 席：20施設 24名

通所リハビリ部会は、他の専門部会と多少意味合いが違い、通所リハビリ事業所単位での設置です。その為、参加される方は、看護職・介護職・支援相談員・リハビリ職等各施設によってまちまちです。今年度の当部会では、その事を念頭に置き一部の専門性に捕らわれないよう、事業所としてメリットの有る活動をして行きたいと思っています。

この広報誌が発行される頃には、第2回の部会も開催されております。内容は「居宅介護支援事業所との関わり」とし、地域で活躍しております介護支援専門員さんをお招きして、通所リハビリに望む事やサービス担当者会議開催時の情報交換の方法等を話し合う予定です。

今後も皆様に興味を持って頂けて、有益な内容を企画していきますので、ご協力をお願い致します。

部会長 山田 稔

事務長部会

第1回 事務長部会の開催

日 時：平成20年7月18日(金) 14:30~16:00

場 所：笛吹市スコレーセンター

出 席：28施設30名

活動内容：平成20年度全老健支部事務担当者会報告

アンケート結果報告(職員通勤手当)

事務長部会は、各施設が抱える問題について、気になる他施設の取り組み姿勢をアンケートにより把握し、協議を行っております。今回は、平成20年12月3日に、『平成20年度実地指導』を議題として開催予定です。実地指導は、毎年各施設で実施され、その指導項目が毎年、微妙に変化しております。この指導内容を協議し、結果を各施設に持ち帰り、自施設に反映させるのも重要な責務の一つです。当部会は、事務長同士の意思疎通を図る上で、大変意義深いものであります。

部会長 網倉 健也

介護支援専門員部会

第1回 介護支援専門員部会の開催

日 時：平成20年6月18日(水) 14:00~

場 所：山梨県立青少年センター

出 席：26施設29名

活動内容：

・平成19年度介護支援専門員部会事業会計報告

・平成20年度介護支援専門員部会事業予算(案)

講義 「高齢者の虐待について考えよう」

講師 北杜市地域包括支援センター 宮沢秀一氏

第2回 介護支援専門員部会の開催

日 時：平成20年10月16日(木) 14:00~

場 所：山梨県立青少年センター

出 席：27施設30名

活動内容：講義 「モチベーションとは」

講師 アルペンスキーヤー 長谷川順一氏

部会を通じて施設ケアマネ同士の連帯を今後も強めて行きたいと思っております。

部会長 山内 亮子

部 会 活 動 報 告

看護部会

第1回 看護部会の開催

日 時：平成20年6月25日(水) 14:00～16:30
場 所：郡内地域地場産業振興センター 2F会議室
活動内容：平成19年度 看護部会 活動報告・会計報告
平成20年度 看護部会 活動計画・予算案
情報交換(各施設より提出の課題について)
出 席：17施設23名

第1回 看護・介護合同研修会

日 時：平成20年9月17日(水) 14:00～16:30
場 所：郡内地域地場産業振興センター 2F会議室
内 容：講演「介護老人保健施設でのターミナルケア」
講師 はまなす 施設長 福田六花先生
出 席：27施設71名

高齢者が安らかに死を迎えることを自然のものと受け入れ、終末期のありかたを、施設での共通理解と日々の生活を大切にしたい援助は、参加者の皆が感動していたと思われます。

最後に福田先生の心のこもった歌声にアンコールが出るほど気持ちが癒され、有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。

部会長 伊藤 一美

介護部会

第1回 介護部会の開催

日 時：平成20年6月24日(火) 14:00～16:00
場 所：介護老人保健施設 みのりの里 旭ヶ丘
活動内容：平成19年度 介護部会 活動報告・会計報告
平成20年度 介護部会 活動計画・会計案
「みのりの里 旭ヶ丘」にて講義、施設紹介・施設見学
日常業務に関する意見・情報交換
出 席：20施設24名

みのりの里 旭ヶ丘には全面的な協力を頂き、第1回の部会を無事終了することができました。各施設からの検討議題についての意見交換もたくさんの意見を聞くことができ、また、施設長の渡辺先生から「ターミナルケア」についてのお考えをお話いただきました。

部会長 平山 千鶴子

栄養士部会

第1回 栄養士部会の開催

日 時：平成20年6月26日(木) 14:00～17:30
場 所：山梨県立青少年センター
活動内容：
「検査結果より知る栄養状態とその対策
(臨床力をつけるために)」
講師 大塚製薬メディカルフーズ事業部 戎 五郎先生
検査結果の中で特に栄養に関する情報をケア計画に生かしてゆくために今後も学習をしてゆきたいと思いました。
平成20年度栄養士部会事業計画・予算案

第2回 栄養士部会の開催

日 時：平成20年9月18日(木) 14:00～17:30
場 所：山梨県立青少年センター
活動内容：
「日本介護食品協議会とユニバーサルデザイン
フードについて...食べる楽しみを全ての人に...」
講師 日本介護食品協議会 藤崎 亨先生
ユニバーサルデザインの基準に則った介護食品を実際に試食することで、施設での介護食に対するヒントをたくさん得ることが出来たと思います。
情報交換
情報交換では「最近の実地指導の内容」「食事箋をどのような様式にしているか」「補助食品の代金について」「魚料理提供時の工夫」等、話し合いました。すぐに役立つ情報を聞くことができ、たいへん有意義な時間になりました。
部会長 若狭 綾子

支援相談員部会

第2回 相談員部会

日 時：平成20年8月19日(火) 14:00～
場 所：みのりの里 旭ヶ丘
活動内容 講師 みのりの里旭ヶ丘施設長
渡邊寛宣先生

講演内容：看取りについて

第2回の相談員部会では渡邊先生の「看取りについて」をテーマに講演していただき、先生の経験と実践と研究で裏付けられたお話で、看取りの意味の重さ・価値観の尊重・共有の重要性などをわかりやすく教えていただきました。また、支援相談員についても、施設の窓口なので、コミュニケーション能力を發揮し、施設の理念やリスクなどを毅然と利用者家族に伝えてもらいたいとのことでした。

部会長 本 敏己

施設訪問記

しおかわ福寿の里

(訪問者 ひばり苑)



山の木々が紅葉に染まり始めた10月のある日、しおかわ福寿の里を訪問させて頂きました。山梨県の北部、北杜市に位置し、国道141号線から少しはなれた閑静な場所にある塩川病院に併設されています。今回は紅葉見学という行事をしている中、清水看護師長と村田副施設長、窪田事務課長にお話を伺いました。

施設の特徴

山梨県の面積の13パーセントを占める北杜市にあり、四方には富士山、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、茅ヶ岳を望むことが出来るといった絶好のロケーションにあり、平成7年4月に開設されました。併設の塩川病院、訪問看護ステーションと一元的に運営され、北杜市南部地域の医療福祉サービスの拠点としての役割を担っています。

また、毎日交代で来る病院の医師が入所者を診ていることに加え、病院の診察時間外や夜間の急変時にも対応が可能ということで職員の方々も安心して業務に当たることが出来るとのことでした。

レクリエーション

花見、納涼会、紅葉見学、運動会、クリスマス会など季節に合わせた行事の他に毎月一回、お楽しみ会といった形でお誕生会等を行っているそうです。

また、納涼会の時の花火が見物で、大きな打ち上げ花火もあり病院や地域の人たちも楽しみにしているそうです。

今後の目標・取り組み

塩川病院、訪問看護ステーションを含め、地元と連携を密にとって地域に根差した医療・介護を目指していきたいそうです。

利用者の人間としての尊厳を尊重し「より人間らしくいかに生きていけるか、在宅と変わらないように人間らしく楽しく」といった中で在宅復帰することを目指していきたいとの言葉から、施設の熱意が伝わってきました。

シリーズ さくひん



孔雀と鶴(しおかわ福寿の里)

この作品は、通所リハビリの利用者さんが作ったものです。折り紙で孔雀と鶴を折ってあります。

施設の概要

入所定員	70名
通所定員	20人
協力病院	塩川病院
所在地	〒408 - 0114 北杜市須玉町藤田787
電話番号	TEL 0551 - 42 - 4604 FAX 0551 - 42 - 4101

編集後記

一昨年4月より、広報委員長をお受けして、あっという間に2年がたちました。微力ながらも無事に任期を全うすることができ、ほっとすると共に協力・支援していただいた方々に感謝いたしております。4月には介護報酬の改定がありますが、厳しい状況は変わらないと思いますので、老健協を中心に各施設協力し合い、より良いケアをし、研鑽しあいがんばっていけたらと思います。2年間本当にありがとうございました。

広報委員長 都 倉 昭 彦
(しおかわ福寿の里)

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会
事務局 〒405-0076
山梨県笛吹市一宮町竹原田1255 - 1
いちのみやケアセンター内
TEL.0553-47-4811
FAX.0553-47-4815
ホームページ:
<http://www.y-rouken.jp>
Eメール:rouken@tiara.ocn.ne.jp
印刷 株式会社 少国民社